

## <領域：人間と社会>

### 人間の尊厳と自立

**問題 1** 次の記述のうち、介護福祉職がアドボカシー(advocacy)の視点から行う対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護を行う前には、利用者に十分な説明をして同意を得る。
- 2 利用者の介護計画を作成するときに、他職種に専門的な助言を求める。
- 3 利用者個人の趣味を生かして、レクリエーション活動を行う。
- 4 希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り、その実現に向けて働きかける。
- 5 視覚障害者が必要とする情報を、利用しやすいようにする。

**問題 2** Aさん(83歳、女性、要介護3)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症  
ひだりかたまひ  
で左片麻痺があり、介護老人福祉施設で生活している。家族から、「できることは  
自分で行ってほしい」と希望があり、Aさんは自室から食堂まで車いすで自走する  
ことを日課としている。

1週間前から、介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。  
数日前からAさんは実習生に、「今日は腕が痛いので、食堂まで車いすを押してください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は、実習指導者に相談をした。  
実習生に対する実習指導者の最初の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「Aさんの腕は痛くないので、気にしないでください」
- 2 「どのようなときも、Aさん自身で行ってもらうことが必要です」
- 3 「ご家族から自分で行うように、言われています」
- 4 「それは自立につながらないので、車いすを押さないでください」
- 5 「Aさんが依頼する理由を、まず考えてみることが大切です」